

暇都整第1717号
令和6年3月28日

国土交通大臣 様

四條暇市長 東 修 平

社会資本総合整備計画の事後評価の報告について

社会資本整備総合交付金交付要綱第10第1項に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価を行ったので、別添のとおり報告する。

記

社会資本総合整備計画名称：四條暇市域の安全・安心を向上させるまちづくり

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年9月16日

計画の名称	四條畷市域の安全・安心を向上させるまちづくり			重点配分対象の該当	
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	大阪府 四條畷市		
計画の目標	市域の防災機能を高める公園整備などを促進し、災害に強いまちづくりを図るとともに、平常時は魅力的な地域資源として”まち”の魅力を向上させ、地域間交流の拡大を目指す。 また、多種目のスポーツ利用を促進し、市民の健康増進や競技環境の充実を図る。				

計画の成果目標 (定量的指標)	・ 防災機能を持つ公園整備を行うことにより、有事の際の広域避難地の面積を172haから23増やし、災害時に応援部隊の集結地として必要な面積を有する活動拠点が現在は無いが、1箇所確保する。 ・ ”まち”の魅力向上による地域間交流を拡大し、魅力的な”まち”への来訪者数を40%から100%に増やす。 ・ 市民の健康増進や”まち”の魅力向上に資する市民一人当たり公園面積を1.3㎡/人から5.2㎡/人に増やす。 ・ 市民等の屋外スポーツ活動への参加を活性化させ、利用者数40%から100%に増やす。	上段：計画 下段：実績
-----------------	---	--------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
① 広域避難地の増加 H26年度の広域避難地の面積+新しい広域避難地の面積	172ha 172ha	183ha 174ha	195ha 176ha	
② 地域防災拠点 (集結地) の増加 H26年度の地域防災拠点 (集結地) の箇所数+新しい地域防災拠点 (集結地) の箇所数	0箇所 0箇所	0箇所 0箇所	1箇所 1箇所	
③ 魅力的な地域資源を有する”まち”の来訪者の増加 【市内屋外運動施設の市外利用者数/H30年度の市内屋外運動施設の市外利用者数】×100	40.00% —	60.00% 46.18%	100.00% 100.00%	
④ 市民の健康増進や”まち”の魅力向上に資する市民一人当たりの公園面積の増加 H26年度の市民一人当たり公園・緑地の面積+新しい公園の市民一人当たり面積 ※ 飯盛園は除く	1.3㎡/人 1.3㎡/人	3.1㎡/人 1.6㎡/人	5.2㎡/人 2.0㎡/人	
⑤ 屋外スポーツ施設の利用者数の増加 【屋外スポーツ施設利用者数/H30年度の屋外スポーツ施設利用者数】×100	40.00% 83.45%	60.00% 95.81%	100.00% 100.00%	
全体事業費 合計 (A+B+C+D)	1,018百万円 739百万円	A	1,000百万円 721百万円	B
			0百万円 0百万円	C
			18百万円 18百万円	D
			0百万円 0百万円	
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.8% 2.5%

事後評価

1. 事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制 四條畷市社会資本総合整備計画の事業に係る事後評価実施要綱に基づき評価を実施。	事後評価の実施時期 令和6年2月 公表の方法 四條畷市ホームページにて公表する。
-------------------	---	---

交付対象事業

A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
A-1	公園	一般	四條畷市	直接	四條畷市	四條畷市総合公園整備事業	公園整備 S=22.5ha	四條畷市						1,000 721	—	未	
合計													1,000 721				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
									H26	H27	H28	H29	H30			
合計													0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
									H26	H27	H28	H29	H30			
C-1	防災活動	一般	四條畷市	直接	四條畷市	防災啓蒙活動	防災マップ作成	四條畷市						1 1	全戸配布	
C-2	施設整備	一般	四條畷市	直接	四條畷市	防犯灯設置事業	防犯灯1000基	四條畷市						17 17	市全域	
合計													18 18			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
									H26	H27	H28	H29	H30			
合計													0.0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	防災マップの作成を防災機能を持つ公園事業 (A-1) と一体的に実施することにより、市民に最新の防災情報を提供し、防災に対する市民意識の啓蒙を図る	
C-2	防犯灯整備を防災機能を持つ公園事業 (A-1) と一体的に実施することにより、まちを明るくし、まちの安全・安心の向上を図る	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 市内に防災機能を持つ公園整備を行うことにより、広域避難地及び災害時の応援部隊の集結地を確保でき、災害に強いまちづくりが実現した。 ・ 市内で唯一の人工芝運動場を整備することにより、多種目のスポーツ利用を促進し、市民の健康増進や競技環境の充実が実現した。					
II 定量的指標の達成状況	指標①広域避難地の増加	最終目標値	195ha	目標値と実績値に差が出た要因	当該公園においては、市の直営事業から民間活力の導入による更なる魅力向上を図っていく事業に方針転換を行った。その結果、まずは既存施設の充実を図り、その収益において新たな施設を整備していく事業スキームとなったことから、必然的に長いスパンでの段階的な供用開始となることとなり、広域避難地の増加に影響を及ぼした。	
		最終実績値	176ha			
	指標②地域防災拠点 (集結地) の増加	最終目標値	1箇所	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	1箇所			
	指標③魅力的な地域資源を有する”まち”の来訪者の増加	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100.0%			
指標④市民の健康増進や”まち”の魅力向上に資する市民一人当たりの公園面積の増加	最終目標値	5.2㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	当該公園においては、市の直営事業から民間活力の導入による更なる魅力向上を図っていく事業に方針転換を行った。その結果、まずは既存施設の充実を図り、その収益において新たな施設を整備していく事業スキームとなったことから、必然的に長いスパンでの段階的な供用開始となることとなり、市民一人当たりの公園面積の増加に影響を及ぼした。		
	最終実績値	2.0㎡/人				
指標⑤屋外スポーツ施設の利用者数の増加	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因			
	最終実績値	100.0%				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項 (今後の方針等)	当該事業の経緯として、平成26年度から事業が開始され、用地の確保や整備事業を進めていたが、平成29年度に大幅な方針転換にもつぎ調査研究のため、本計画は留保された状態であった。令和2年度には新たな運営事業者が確定し、その方針が既存施設を活用しながら、施設等に対して投資を行い、本公園のポテンシャルを高めていくこととしており、令和3年度には、既存施設のリニューアルによる多目的運動場が開園した。 このように民間企業による事業体系へ移行してきたことから、本計画の交付金事業としての事業評価を実施した。
------------------	--